

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	施設長・管理者の交代、ケアマネジャーの交代があり 運営推進協議会の意義についての認識不足により運営推進協議会の開催に至らなかった。 今後は定期的に開催していく。	運営推進協議会の意義を理解し、地域の代表、管轄の消防・派出所、包括支援センター、家族へ連絡し、出席を得て地域との連携を図る。また連携することで防災にもつなげていく。地域の情報を得て地域との交流を深めていく。	包括支援センターへ出かけ、運営推進協議会の未開催について謝罪し、今後の取り組みについて説明をした。家族へは月間報告の中に運営推進協議会の意義を説明し、参加を募る。	12ヶ月
2	35	緊急時の連絡網はできているものの、避難場所の決定など防災に関しての危機感がない状況である。また、地域との連携を図り、防災に関して徹底していく。	地域の防災訓練に参加し、またホームでの訓練にも参加していただき、協力体制を整えていく。ハザードマップを市役所でコピーしてホーム内に掲示する。	運営推進協議会を開催することで地域の方々と顔見知りになり、合同で防災訓練の計画を立てる。 災害時にはホーム内に留まらずに地域の方への連絡が迅速に行くように連絡先を掲示する。	3ヶ月
3	40	食事の見守りや介助、声掛けのために職員と一緒に食卓を囲んで食事を取っていない。 特に3人体制の時には摂取量や食べている様子の記録で利用者さんと一緒に食事を摂れない状況である。	職員全員が利用者さんと一緒に食事を摂ることは無理でも、最低一人は一緒に食卓を囲んで食べるようにする。同じものを一緒に食べて食事の内容を話題に挙げたりしながら食事の時間を一緒に楽しむようになる。	遅出の勤務者が特に声掛けの必要な利用者の近くに座り、声掛けしながら他の利用者さんとの会話も大切にしながら食事を摂る。その間、日勤者は摂取量記録と、服薬介助。早出勤者は見守りに徹する。	0.5ヶ月 達成
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。